



インフォメーション

日本蜘蛛学会第54回 大会予告

片山詔久

本蜘蛛学会第54回(2022年)大会は、8月20,21日(土,日)に名古屋市立大学桜山キャンパスで対面での開催をすべく準備を進めております。

また、前日には観察会を企画しています。講演申込は7月中旬の予定です。

ただし、感染状況によっては、10月22,23日に延期またはオンライン開催とし、観察会は中止します。

その場合は、8月上旬に案内します。最新情報は、学会WEBの大会情報サイト <http://www.arachnology.jp/meeting.php?n=7> に随時掲載します。

皆様に2年越しにお会いできることを楽しみにしています。

アジア蜘蛛学会第7回大会 のお知らせ

本多佳子

2022年10月17日-22日にベトナムのニンビンで第7回大会が開催されます。

(<https://www.asianarachnology.com/wp-content/uploads/2022/02/7th-ASA-Cuc-Phuong-NP-Vietnam-Pham-Dinh-Sac.pdf>).

大会開催は本来2年に1度ですが、2020年に予定されていた第6回大会が1年延期され昨年の開催となったため、今回のみ2年連続での開催となります。現在掲載されているのは対面参加を前提にした案内のみですが、昨年12月の第6回大会(インド)が対面とオンラインのハイブリッド型で開催されたこと、海外渡航が困難な状況が続いていることから、今回もオンライン参加が可能になると予想しています。昨年のインド大会は3時間半の時差で調整に戸惑ったものの、子連れ海外長距離移動という難題に直面することもなくアジア地域のクモ研究の話を聴くことができ、非常に楽しい1週間を過ごすことができました。オンライン向けの参加申し込みについても今後ASA web サイト

(<https://www.asianarachnology.com/>)

に掲載されていくと思いますので、皆様奮ってご参加ください(若手の方々は是非発表にも挑戦してみてください!)

※参加費の支払いは恐らく現地銀行口座への送金となります。国際送金の高額な手数料が気になる方も多いと思いますが、Wise(旧Transfer Wise)のようなオンライン送金サー

ピスの利用で手数料を低く抑えることができますので、こちらもお試ください。

言いたい！聞きたい！



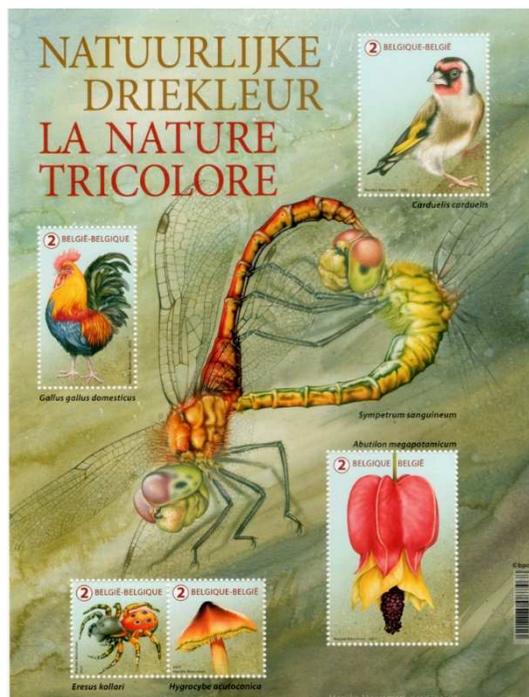
クモ切手の風景

17

笹岡文雄

2021年ベルギー発行、自然界のトリコロールがテーマの切手シートです。クモを含めた動物6種と切手ではない部分の1種のシートになります。トリコロールなので3色のはずですが、どうもバラバラ。

右上の鳥は *Carduelis carduelis* ゴシキヒワ、色の取り方で、3色か5色か和名の方が間違っているのでしょうか。



左中は *Gallus gallus domesticus* セキショクヤケイの家禽種、うーん・・・とりあえず3色としておきましょう。

右下の花は *Abutilon megapotamicum* ウキツリボク、ブラジル原産ですが園芸種として広く栽培されています。チロリアンランプの名前の方がポピュラーです。花が3色はちょっと無理がある、葉を入れて3色ということでしょうか。

左下のキノコ、*Hygrocybe acutoconica* トガリツキミタケ。記載はアメリカですが、欧州産の近似種とされていたものはシノニムになりました。和名がある通り日本にも分布しています。ネットで画像を確認しても、どう見ても3色じゃない。何で入ったのか全く不明です。ちなみに食毒不明とされ少なくとも、食べられないようです。

さて、クモの前に、切手ではない部分センターのトンボは *Sympetrum sanguineum* ヤンマのように見えますが日本でいう赤とんぼ、アカネ属になります。オススメで3色合わせ技でしょう。

では本題のクモですが、*Eresus kollari* 北アフリカ、西欧、東欧にかけて広く分布、日本にはいないイワガネグモです。

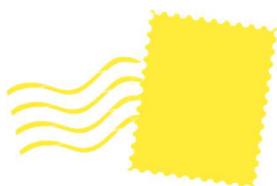


イワガネグモですが、脚部分の白黒を含めれば3色ですが、やっぱり無理があります。そこで調べてみると *Eresus kollari tricolor* が1873年に L. Simon によって記載されていました。コルシカ島で採れたメスのみで、未だオスは未発見のまま。原記載の図はモノクロなので何故「tricolor」なのかわかりません。どこか3色だったのかもかもしれませんが、それまでわかって切手にしたかどうかよくわかりません。

というかこの切手、全体的に選ばれた種全部が、トリコロールのテーマからちょっとずれている感じがします。

最後に額面はいくらでしょうか。②の表示があります。ベルギーは変わった国で、切手は国内郵便のみ有効、国外は欧州、その他の3種類あります。まとめ買いをすると割引で買える。切手には額面が印刷されておらず①②③と番号がついています。国内定形郵便を例にとると①は50gまでの料金②は①の2枚分、③は同じく3枚分の料金という「印」になります。

定形郵便では国内0.74€ 国外欧州1.13€ 国外その他1.35€です。この方式なら郵便料金を値上げしても切手の図案を変更しなくとも値上げ前に買った切手もそのままつかえます。とはいえ貼るものを間違えると返送になるとか、日本の感覚ではちょっと面倒です。国内向け、②なので1.48€で、料金では定形外0~100g用になります。約205円税込みとはいえ、少し高いですね。



図鑑を見ても名前がわからないのはなぜか
須黒達巳 183p. ベレ出版 2200円+税



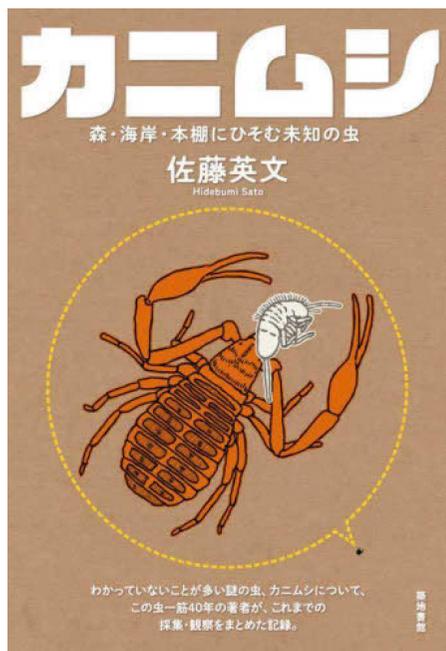
クモの世界

浅間茂 182p. 中公新書 1100円



カニムシ

佐藤英文 252p. 築地書館 2640 円



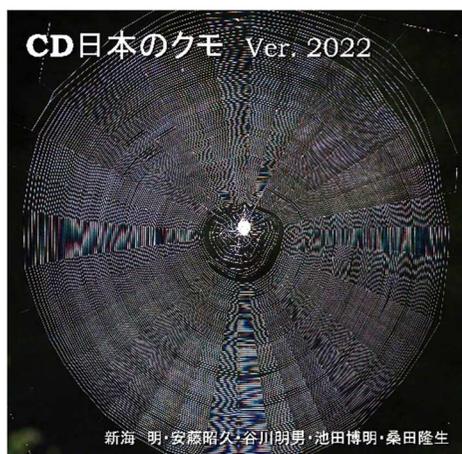
CD 日本のクモ Ver.2022

新海明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田

隆夫 著者自刊 2140 円

谷川 dp7a-tknw@j.asahi-net.or.jp まで郵送

先をお知らせください。



採集情報

日本各地で採集された稀産種や、都道府県初記録、島初記録、南限更新、北限更新など分布上の重要情報について掲載する。これを読み、「私もこんな種類を採集しているぞ」という方はその情報を是非お寄せいただきたい。

【このコーナーに掲載する記録は、証拠標本か、同定のキーとなる特徴がはっきりと撮影されている写真かのどちらかがあるものに限らせていただきます。目撃談のみのものにつきましては取り上げません。また、幼体の記録についてはいろいろと議論のあるところですが、とりあえず现阶段では、投稿があれば参考記録として掲載を継続させていただきます。しかし、**幼体での記録は誤同定の危険が大きいですので、可能な限り避けてください。**】

カトウツケオグモ 沖縄県伊平屋村我喜屋(腰

岳) 2021年5月12日 1♀ 稲田悟司採

集・同定



トカラハエトリ 兵庫県赤穂市坂越橋 2021年5月23日 1♂ 野村拓志採集・須黒達巳同定. 東京都北区王子飛鳥山公園 2021年6月27日 1♂ 宮崎太一採集・須黒達巳同定

モンシロコゲチャハエトリ 兵庫県赤穂市坂越橋 年5月23日 1♀ 2021年7月3日 1♀ 野村拓志採集・須黒達巳同定



コガタネオンハエトリ 兵庫県たつの市新宮町善定 松尾神社 2021年7月3日 2♀ 野村拓志採集・須黒達巳同定

カグヤヒメグモ 鹿児島県屋久島長峰 2021年11月20日 1♀ 小西祐伸採集・谷川明男同定.



コマツエンマグモ 鹿児島県屋久島平内権現堂 2022年2月21日 1♂ 小西祐伸採集・谷川明男同定.



キジロオヒキグモ 宮城県伊具郡丸森町(字上滝西) 2022年4月7日 出のう♀幼体♂成体 高木和紀子採集・同定

カノウハエトリ 鹿児島県奄美大島瀬戸内町 2022年4月21日 1♀2♂ 内田晃士採集同定・谷川明男確認

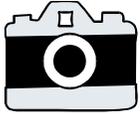
クモマハエトリ 宮城県仙台市青葉区川内青葉山公園長沼 2022年5月15日 1♂ 宮本竜也採集・遠藤鴻明同定



<幼体による参考記録>

カトウツケオグモ 沖縄県名護市源河 2021年10月15日 1雌幼体 稲田悟司採集同定

(新海 明・谷川明男集約)



ギャラリー



『ヒシガタグモ』

神奈川県秦野市で撮影したヒシガタグモとその逆Y字型網です。なんとなく違和感があったのでよくよく見てみると、下向きの糸に添えてある歩脚の長さが左右で違っていました。再生肢なのかな？と思ってよく見てみると、向かって右、クモにとっての左側の肢が3本しかありません。すなわち、この個体は左の第1脚が欠損しているのです。代わりに第2脚を糸に添えています。第1脚に比べるとずいぶん短いので、非対称感が強くなっていました。もし片側の第1, 2をとともに失ってしまったらどうするのでしょうか。なんとか頑張っているクモには気の毒ですが、ふとそんな意地悪な疑問を持ってしまいました。

撮影・文 谷川明男

遊絲原稿送付先

〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603

新海 明まで

E-mail では dp7a-tknw@j.asahi-net.or.jp (谷川明男) まで

遊絲の発行は、年2回(5月, 11月)の予定。
投稿締切は発行月の前月末日(4月末と10月末)です。

日本蜘蛛学会

homepage : <http://www.arachnology.jp/>

Atypus 閲覧のパスワードは ●●●●●

会費の納入、住所変更などは会員マイページでのご操作をお願いいたします。

年会費 正会員 7000 円 (学生は 5000 円)

会長・幹事

会 長

田中 幸一 kt206540+at+nodai.ac.jp

庶務幹事

村田 浩平 kmurata+at+agri.u-tokai.ac.jp

片山 詔久 nory+at+nsc.nagoya-cu.ac.jp

会計幹事

甲野 涼 spidercatchup-at-yahoo.co.jp

編集幹事

山崎 健史 k0468874+at+gmail.com

図書幹事

原口 岳 h1r1g3ch2+at+gmail.com

遊絲 第50号

2022年5月30日発行

編集者 新海 明, 谷川明男, 池田博明

発行者 日本蜘蛛学会 会長 田中幸一
